

「質実剛健」
「協同親和」
学び 考え つなごう 夢へ

豊中新聞

平成23年5月 No34
豊明市立豊明中学校
TEL 0562-92-1321
<http://www.toyoake-j.aichi-c.ed.jp>

東日本大震災から2ヶ月が過ぎ、いまだ苦しい避難所生活が続いている被災者の皆さんがいます。皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

支援活動として3月に生徒会とPTAが義援金活動をしました。また、被災者の方からの直接の声として、被災生徒のための通学カバンをPTAの皆さんから集め、直接被災地の子ども達へ送ることができました。そして、PTA総会の折には愛知県PTA連絡協議会の取り組みとして義援金活動を行い、本校で38,127円、市P連として280,235円の義援金を、県P連を通して直接被災地のPTAへ送付することができました。被災地の皆さんが普通の生活に戻ることができるにはまだまだ時間がかかりそうです。その間、私たちが今できることを考えていきたいと思います。

——— 犯罪から守る・犯罪者にならないための「ケータイ安全教室」 ———

4月12日（火）に学年毎に生徒を携帯電話に関わるトラブルから守るための安全教室を開催しました。その折に講師の方から伺った話を紹介します。

持たせるからには上手な携帯電話の使い方を教えるのも親の役割です。出会い系サイトの被害者の6割が高校生、4割が中学生で18歳未満の女性がほとんどです。出会い系サイト規制法が強化され、ゲームサイトやSNS（コミュニケーションや情報交換を目的としたサイト、mixi,GREE,Facebook等）といった非出会い系サイトによる犯罪やトラブルに巻き込まれる事件が増えています。ネットを利用する人の中には犯罪目的で利用している人も存在するということをしっかり理解させる事が大切です。また、被害者の76%は親が子どもの携帯電話の利用に無関心で、注意されたことがないという調査結果も出ています。お子様を守るためにも”我が家のルール”作りをして下さい。

【決めておきたいケータイルールの例】

- 食事中はケータイを使わない。 ○家ではリビングだけで使う（充電もリビングでする）
- 夜※時以降は使わない。 ○フィルタリング（アクセス制限）サービスを利用する。
- 自分の個人情報を書き込まない、また他の人の悪口も書き込まない。 ○掲示板などに他人が不快に思うようなことを書き込まない。 ○困ったときはすぐに保護者や学校の先生に相談する。○料金が※円を超えた分はお小遣いで払う。 ○学校へは持っていない。

子供の望むルールではなく、子ども達の発達に合った、安全のために必要な内容にしていくことが大切です。

